

第12回米原市定例教育委員会

日 時：平成30年12月20日

午後3時30分開会

場 所：ルッチプラザ2階 研修室

(出席者)

教 育 長：山本教育長

教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員

教 育 部 長：上村部長

教 育 総 務 課：西出課長

学 校 教 育 課：一ノ宮課長

生 涯 学 習 課：口分田次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：吉田課長補佐

図 書 館：今川館長

書 記：澤

(欠席者)

教 育 委 員：近藤委員

1 開 会

2 教育長あいさつ

皆さんこんにちは。12月も押し迫りまして、学校においては、明日が2学期の終業式となっています。また12月の市議会も明日が最終日ということで、今回は、教育部としましても多くの議案を提出しており、中には厳しい意見もありましたが、今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

11月中旬から12月上旬にかけて学校訪問を行いました。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、出席いただきましてありがとうございました。本日学校訪問を終えての意見交換の時間を設けておりますので、いろいろな御意見をよろしくお願ひしたいと思っております。

また先週の日曜日には、双葉中学校の駅伝チームが、滋賀県で行われました全国中学校駅伝に県の代表として出場してくれました。結果は厳しいものでしたが、子どもたちは全国大会の雰囲気を感じてくれたと思っております。

学校教育課から報告もありますが、2学期末のいじめアンケートにおいて、多くの報告も出ております。このことについては、問題が大きくなるまでに対応するということでは大変重要なことであると思っております。

12月の市議会では、生涯学習の方向性、公民館のコミュニティセンター化に向けた検討の状況、中学生の交流事業の状況、ホストタウン、子どもたちの通学の安全対策、教育費予算の拡大について、一般質問がありそれぞれ対応をさせていただきました。予算も非常に厳しい中ではありますが、各課が努力をさせていただいている状況です。

3 会議録承認

平成30年11月定例会議事録 承認

4 所属長報告

(1) 教育総務課長

11月21日22日にかけては、大阪市で開催されました県都市教育委員会連絡協議会の県外研修に、お忙しい中参加をいただきましてありがとうございます。

11月27日には議会会派の勉強会があり、各小学校の通学実態について、また生涯学習や体育事業の実態について意見交換が行われました。小学校の通学実態については、通学に関する基本方針の説明をした後、議員の皆様から御意見をいただきました。低学年や通学距離が長い児童に対しては、何らかの通学支援があったほうが良いのではないかと、狭い道での歩道の確保、まいちゃん号の検討もお願いしたいという一方で、徒歩での通学は、体力づくりになるというような御意見もありました。通学支援の変更を行う場合は、やはり該当する保護者の皆さんの意見を大切にしながら、また地域も含めて検討していく必要があると思いました。

(2) 学校教育課長

学校訪問ということで、委員の皆様には、お忙しい中お世話になりました。12月15日にイングリッシュフェスを実施しました。今回は、小学生31人が参加し、ゲームを通して、英語に触れながら楽しい半日を過ごしてくれました。明日が2学期の終業式となります。

今後の予定では1月4日に校園管理職会議、1月7日が3学期の始業式、1月18日に米原中学校区の教育フォーラムが開催される予定です。

11月の事故・問題行動ですが、いじめが疑いを含めて小学校が6件、中学校12件あがってきております。中学校12件のうち11件が双葉中学校でのアンケートをもとに認知し、対応したケースです。内訳を見ますと、特に1年生の男子が8件で、大変多くあがってきました。また、1人の生徒は加害で複数の案件に関わっているケース、また、女子は、集団で1人に対して仲間外しをするというようなケースが何件か見られたことが特徴であり、学校で聞き取りをして指導をしているということです。

教育センターですが、11月および12月に若手職員研修を実施しました。今後は、調査研究発表大会、教育研究論文について実施していきます。また、チームまいばら先生

(TMT) の会ということで、横のつながり、情報交換、ともに学び合える場の設定、あるいはネットワークづくりとして、月1回1時間程度の希望研修を1月から取り組んでいきたいと考えています。

(3) 生涯学習課長

11月18日にいきいき健康ウォーク2018を開催し、参加者80人、スタッフ54人、合計134人の参加をいただきました。12月1日に米原市芸術展覧会の音楽部門を開催しました。全部で出品数が77点あり、そのうち最終審査会ノミネート作品9点の発表会と審査を行いました。12月15日に東儀秀樹さんのコンサートを開催し、ほぼ満員の318人の入場がありました。

今後の予定ですが、東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーということで、県内を巡回して、オリンピックの旗の展示を行う取組です。12月30日から1月3日にかけて米原駅東西自由通路で展示しますので、御覧いただきたいと思います。1月13日に米原文化産業交流会館県で平成31年米原市成人式を開催します。

(4) 歴史文化財保護課長

12月15日土曜日に米原市の太鼓踊り現地探訪交流会を開催しました。これは米原市内の太鼓踊り関係の保存会の方にお集まりいただき、それぞれの課題や取組について情報交換を行っていただくことを目的として開催しました。主な意見としては、どの保存会も後継者の問題は喫緊の課題で、大きな課題であるとの認識でした。ある保存会からは、単に保存会だけではなく、地域を挙げて継承に取り組んでいかなければならないという報告がありました。また、地域だけではなくて学校の事業の取組の中で取り上げていただくことができないかという意見もありました。今回初めて保存会の交流を行いましたが、今後もこのような機会を通じて情報交換をしながら、市全体として伝統芸能である太鼓踊りの継承をしていかなければならないと感じました。

12月11日に流星の打上げ実行委員会を開催しました。来年度、奥伊吹スキー場で流星の打上げをする確認をさせていただきました。時期は、10月または11月になると思います。時期が決まりましたら、皆様にも奥伊吹スキー場で流星を御覧いただきたいと思っております。

最後になりましたが、柏原歴史館で萬留帳の第2巻の報告の記念講演会があり、約20人の方に参加いただきました。現在第2巻ということですが、計画では第10巻まで発刊する予定です。まだ8年ほどかかる事業になりますが、今後もこのような大切な資料を伝えていかなければならないと思いますし、中身を分かり易くお伝えできるように進めていきたいと思っております。

(5) 学校給食課長補佐

東部給食センターでは11月12日から19日、西部給食センターは12月5日から18日にかけて、小学校2年生を対象にした食に関する指導として「カルシウムをとろう」を実施しました。11月26日には米原小学校2年生を対象にかぶの収穫体験、27日には春照小学校、山東小学校3年生を対象に農協や営農組合などの協力の下、ブロッコリーの収穫体験を実施しました。

12月13日には第2回学校給食運営委員会を開催し、給食費の改定について協議を行いました。12月15日には親子料理教室を開催し、50人の参加がありました。なお今回の親子料理教室は盛況で多数の方が応募いただきまして、抽選を行いました。なお、本日で2学期の学校給食は最後となりました。

今後の予定ですが、12月25日に臨時調理員の採用試験を行います。3学期の給食は1月8日から始まりますが、準備期間が1月4日と1月7日の2日だけということで、大変厳しい日程となっております。1月10日を皮切りに、味噌作り体験を御覧の日程で実施します。1月24日からは、学校給食週間がスタートします。

(6) 図書館長

図書館協議会の施設研修として、東近江市の永源寺図書館、能登川図書館を訪問しました。東近江市には図書館が7館あり、永源寺図書館では「食と農」、能登川図書館では「健康医療情報」に力を入れておられて、地域に根差した図書館運営をされている様子を見せていただきました。

山東小学校でのブックトークでは、3・4年生には「生きる」、5・6年生には「時間」というテーマでクイズ等も入れながら本を紹介しました。特別編としまして、ボランティアの小路さんに「霊仙三蔵」のお話を手づくりのパネルシアターで紹介していただきました。

山東図書館のカウンターの上に飾っておりますオーナメントは、図書館講座として、行ったものです。

近江はにわ館リニューアル1周年記念として、“ふるさととともに、思い出とともに”と題して、「みんなでふるさとを描こう展」、「思い出のひきだし展」、「第4回ハートフルコンサート」を開催し、近江図書館では、「思い出のとびら本特集」を行いました。

今後の予定ですが、12月26日に息長小学校で学校図書館を大改造されますので、図書館職員も応援に行く予定です。近江はにわ館では、お正月に向け「書を飾る」の展示をしていただきます。また、両館共に年末年始のお休みに向けて、多くの本を借りていただけるようなお楽しみ企画や、ラッキーナンバーをお渡しするなどの新たな企画を考えましたので、是非多くの方に御利用をいただきたいと思います。

5 所属長に対する質疑

A委員：学校教育課からいじめの報告がありました。人権週間には、学校でいろいろな取組をされていると思いますが、いじめに限らず、各学校における教育相談的なアンケートの実施状況が分かれば聞きたいと思います。

教育センターのチームまいばら先生（TMT）の会について質問ですが、研修会として予定されているようですが、自由参加ということですか。私も以前にフリー参加の研修がありましたが、どうしてもメンバーが固定され、なかなか広がらなかったという運営上の難しさがあります。これは非常に良い取組なので、ぜひ継続していただけると良いなと感じました。

学校給食センターの方で、この時期に味噌づくり体験を実施されていますが、調理員の方が非常に大変だろうと思っています。

事務局：いじめのアンケートについては、各学校で2回から3回実施していただいているところですが、やり方や時期もいろいろありますが、記名式と無記名式の両方を併用して実施しています。今回の双葉中学校については、記名式で、結果については教育委員会に報告をして、指導も徹底をするということで年度当初から実施していただいております。いじめについては、しっかりと最後まで指導、見守りをして欲しいということで、校舎長会等で話をしていきたいと思っています。チームまいばら先生（TMT）の会については、若手が非常に増えてきたということで研修の機会を設定するもので、非常勤の講師を含めて、1回1回希望をとって先生が気楽に参加してもらえるような方法で進めていきたいと考えています。このような機会を通して、語りあえて横のつながりができるような形ができればと思っています。

事務局：チームまいばら先生（TMT）の会は、3学期の結果を見ながら、来年度の重点取組にしたいという思いを持っています。1時間程度の情報交換を行う場も必要ではないかという話もしていました。このように、教師力を育成するということで取り組みたいと思っています。

A委員：いじめの実態は学校によって考え方などが違うと思いますが、学校教育課で掴んでおられる範囲内で各学校における温度差はどのように感じておられますか。

事務局：校長先生や生徒指導主事の姿勢によって、温度差があるように感じていますので、統一した形にしていくべきであると思っています。

B委員：研修内容の案内については、教育センターから出されるのですか。

事務局：そうです。

事務局：あまり負担のないように、取り組みたいと思います。学校への負担や事務局の負担もあるので、3学期実施の様子を見てから、今後どのように進めていくか考えたいと思います。

C委員：いじめについては、その後どのように指導していただいているのか、またどのよう
に見守っていただいているのかが気になります。指導の仕方については、一番重要な
ことで、子どもたちが良い方向へ向いていけるようになれば良いなと思います。
10月、11月には、子どもたちの活動を応援する学校行事が多くあり、参加させてい
ただく機会がありますが、毎年子どもたちが成長しているのを感じることができま
す。日々行っているこのような活動が、思いやりを育てる部分につながれば子ども
たちのいろいろなトラブルも解決していくのではないかと考えさせられました。
親子料理教室に参加される保護者の意識がすごく高いと感じました。このように、
子どもたちとの触れ合う場に参加される方が多いことには、嬉しい気持ちになりま
した。

事務局：いろいろな取組を行う中で、成果をどのように上げていくかについては、重要なポ
イントになります。相乗効果で良い部分だけでなく、負の部分が出てしまうことも
ありますので、十分気を付けて対応していく必要があると思います。

D委員：双葉中学校で実施されたアンケートは、いじめに限定されたものですか。

事務局：今回のアンケートは、いじめに限定したものです。

事務局：学校給食運営委員会の話がありましたが、給食費の改定について就学前が現状より
も100円プラス、小学校および中学校が現状よりも200円プラスに改定したいと説
明をしています。委員からは、現状確保するために、もう少し上げて良いのでは
ないかというような意見が出ていました。保護者の中には「200円ぐらい」と思っ
てもらえる人と、「200円も」と思われる人、いろんな反応があるかと思います。給
食費を上げることを負担と感じられる家庭も多い中で、逆に上げたことで給食費を
納めてもらえない心配も出てきますので、就学前が現状よりも100円プラス、小
学校および中学校が現状よりも200円プラスが妥当ではないかと事務局では考えてお
ります。最終的な金額改定の決定は来年10月ぐらいにと思っています。

事務局：給食費の改定については、最終的に教育長が決定する形となります。

事務局：最終的には教育長が決定するという規則になっています。来年度の新構成委員での運営委員会において、もう1回提示して、そこで意見をいただきながら10月に決定していく流れとなります。32年（2020年）4月からの改定となりますので、御理解いただきたいと思います。

A委員：近隣の市町と比べてどうですか。

事務局：県下の近隣の市町と比較しますと、米原市は小学校、中学校ともに大体真ん中ぐらいです。ただし、米原市は平成28年から2学期の始業が早くなった関係上、給食の実施回数が県内で一番多い市になっています。その状況において、給食費は中間ぐらいの金額であることから結構厳しい状況となっております。

事務局：8月27日から学校が始まることから、3日ぐらいは給食で対応できないかとお願いをしているところです。

A委員：1食当たりの単価を比べると低くなるのですね。

事務局：1回の給食に係る経費は、東部給食センターと西部給食センター両方で約100万円になります。

6 議案審議

議案第63号 米原市文化財の指定について 【歴史文化財保護課】

原案承認

議案第64号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】
○コスモスの会・米原市女性の会講演会「愛する人がいればこそ」

原案承認

議案第65号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】
○B. LEAGUE 2018-19 B1リーグ公式戦

原案承認

7 報告事項

(1) 米原市スポーツ顕彰候補者選考委員の委嘱について 【生涯学習課】

8 質疑応答

《学校訪問総括》

B委員：担任の先生がいろいろな問題に対処しながら、いじめや学級指導に当たっておられると感じました。また、各種研修の場を設けて、先生方の資質向上を目指しておられると思いました。

事務局：表向きは比較的落ち着いた授業風景であっても、それぞれ抱えているものがあるように思います。しっかりと子どもに寄り添うという姿勢が必要ではないかと感じております。

D委員：私も初めての経験で、多く見るのもいいけれど、一つをゆっくり見たいなという思いもありました。教室にいる時間が長いということは、子どもと接する時間は非常に多いが、社会人と触れ合う機会は少ないのだろうと感じました。教育者でありながら社会人としての良識を持った人に育てていくシステムが今あるのか疑問に感じました。

C委員：学校によって、いろいろありますが、アットホームでほんわかとして良いと思う反面、先生の言葉使いが一番気になりました。また、学習環境として鉛筆の持ち方や子どもたちの姿勢については、低学年だけではなく高学年や中学生でも気になりました。ある先生から親の心を変えていく機会が必要であり大事になってきたという話を聞き、子どものことについて親が真剣に考えられる機会が必要になったと感じました。

A委員：働き方改革と言われていますが、現状は多くのニーズが学校へ集まり、期待と学校の担うべきものが時代とともに膨らんでいます。しかし、高まるニーズに対応するために減っていくものがないわけです。現場の先生方に寄り添うためには、事務的なことを減らすなど目に見える形でスクラップしていく必要があると感じました。

D委員：私も団体の担当者として、学校にポスター作成の依頼に行くことがあります。ポスターの依頼をする時にどのようにしていいかわからない時には、まず、学校に行って依頼すれば、あとは全部していただけるという思いがあります。学校でそのような苦勞しておられるとは思っていませんでした。

A委員：各団体の担当者の方も、それぞれの立場で依頼されていることであって、学校に多くの依頼が来ているとは思っておられないのではないのでしょうか。

D委員：各学校に持っていけば全部していただけるので、それが当たり前になっているのですね。学校からも、各団体の方にここまではやってほしいと言えば変わると思います。

A委員：今はどのようになっているかわかりませんが、私の時はたくさんありました。次から次へと依頼が来るので、切りがありません。

C委員：今まで継続されてきたものに加えて、新規に依頼されることもあると思います。

事務局：市が依頼しているものだけでも、人権作文、人権ポスター、人権標語、防犯ポスター等があり、他の団体からの依頼も含めると多くなると思います。各団体についてもある一定の事務をしていただけるように何らかの形で話題提起することも必要であると感じます。

学校訪問を通じて、ICTを使っている学校と使っていない学校との差があるように感じました。有効に使っている学校もあったということは良かったと思います。授業改善が小学校は比較的進んでいる中で、中学校ではまだ旧態依然の教師主導型の授業が目立つ印象がありました。先生の力量によって子どもの聞く姿勢は変わるということは、教室に入った途端に目に見えて分かりました。このことは、チームまいばら先生（TMT）の会において、横連携の中でお互い刺激を受けながら育てていくということで、来年度のポイントにしたいと思っています。また、PTA活動の形骸化についても今後話をしていく必要があると感じています。

9 その他

(1) 平成31年第1回定例教育委員会の開催について

日 時：平成31年1月23日（水）午後3時30分から

場 所：市民交流プラザ（ルッチプラザ） 2階 研修室

(2) 平成31年第2回定例教育委員会の開催について

日 時：平成31年2月8日（金）午後3時30分から

場 所：市民交流プラザ（ルッチプラザ） 2階 研修室

(3) 部落解放研究第26回滋賀県集会の開催について

日 時：平成31年2月9日（土）午前9時50分から（※受付：午前9時20分から）

場 所：滋賀県立文化産業交流会館

10 閉 会

以上をもって第 12 回定例教育委員会を午後 4 時 54 分に終了した。